



愛知長久手ロータリークラブ 2016-2017



WEEKLY

例会日=毎週火曜日 PM12:30 例会場=トヨタ博物館「小ホール」

会長 日野典子 幹事 大島昭夫 会報 小谷恒夫

Email: a.nagakuterc@aurora.ocn.ne.jp

事務局 TEL:0561-64-5446

FAX:0561-64-5459



人類に奉仕するロータリー



本日 第 674 回例会 2017 年 5 月 23 日(火曜日)第 666 号

<本日のプログラム> Today's Program

卓話:「クラブフォーラム」

進行:次年度会長幹事

◇ 点 鐘

◇ ロータリーソング 「それでこそロータリー」

前回 第 673 回例会 2017 年 5 月 16 日(火曜日)記録

<ロータリーソング>

<出席報告>

員総数 20 名

出席者 12 名

出席率 60.00 %

前々回補正出席率 90.00 %



にぎり寿司

<会長挨拶>



愛知長久手ロータリークラブ

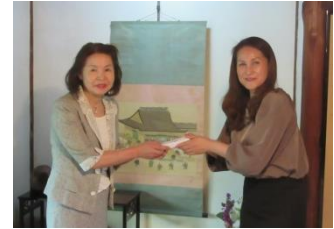
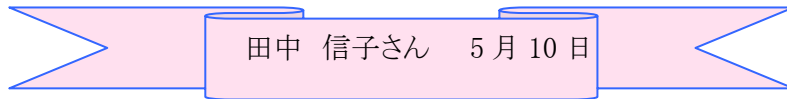
会長 日野 典子

皆さんは、2760 地区の VTT 事業をご存知ですか？2010 年～11 年に試験的プロジェクトとしてロータリー財団『未来の夢計画』が始まり、VTT(職業研修チーム)プロジェクトが導入されて以来パイロット地区に選ばれた当地区は、世界で唯一初年度から VTT 事業を継続実施しています。グローバル補助金使い 6 つの重点分野の中の(疾病予防と治療)をテーマに医療専門家チームの派遣と受け入れを行っています。3 年間のパイロット期間終了後も 2013 年～14 年度にはフィリピン、ケソン市、2014～15 年度にはマレーシア、コタキナバル、2015～16 年度にはインドネシア、ジャカルタ、そして今年度は再びフィリピン、ケソンで実施し受け入れも行っていきます。

特徴は相手地区の事業への理解と協力を得るために地区の委員長が毎回事前に打ち合わせを行い相手地区のガバナー、財団委員長をはじめロータリアンから地区を挙げての協力を得るよう努力していることです。過去いずれの事業でも相手地区と当地区の両ガバナーエレクトが国際協議会で約束し再開を誓いそしてガバナーが現地研修に同行し派遣メンバーの激励と現地ガバナーやロータリアンたちとの交流をしたそうです。その事により両地区での国際奉仕交流が持続継承されています。今後も地区の事業として VTT 事業をして行くと思いますがなかなか皆さんには聞こえてこないお話しなのでここに紹介しました。

<委員会報告>

◆祝福 お誕生日おめでとうございます



◆米山奨学生奨学金支給

2017年度ロータリー米山奨学生

徐 承阮 (ソ スンウォン) 27歳

愛知県立芸術大学 2年



■ニコボックス委員会■

- ・米山奨学生の徐 承阮さんようこそいらっしゃいました。これから1年間よろしくお願ひ 日野 典子
します。
- ・徐君ようこそおいで頂きました。これからよろしくお願ひします。田中さんお誕生日 大島 昭夫
お目出とう。本日もよろしくお願ひします。
- ・徐 承阮君アネガセヨ！本日も宜しくお願ひします。 丹羽 司一
- ・田中さんお誕生日おめでとうございます。徐さんようこそ。 伊藤 広治
- ・米山奨学生徐 承阮さんようこそ。田中信子さんお誕生日おめでとうございます。 山田 文明
- ・田中信子さんお誕生日おめでとうございます。徐君ようこそおいで下さいました。 中川 清子
本日も宜しくお願ひします。
- ・田中信子さんお誕生日おめでとうございます。ソ スンウォン君ようこそお越し頂きました。 青山 和成
今後とも宜しくね！本日も宜しく御願ひ致します。
- ・あつという間の1年でした。ことしもすてきな1年になりますように毎日すごしていきたいと 田中 信子
思います。本日もよろしくお願ひします。
- ・田中信子さんお誕生日おめでとうございます。米山奨学生徐スンウォンさんアニョハセオ 奥野 悦弥
・本日もどうぞ宜しくお願ひします。 伊藤 真
- ・田中さんお誕生日おめでとうございます。ソ君これから宜しくお願ひします。
- ・皆様、セオ君と仲良くして下さい。 大月 涼子
・本日もよろしくお願ひ致します。 小谷 恒夫

“VOLVO CUP 声掛けられて 奮起する 必ず寄ってネ 笑顔のGカップ”

<幹事報告>

- ① 本日例会に米山奨学生ソ スンウォン君が愛知長久手ロータリークラブの米山奨学生として例会に出席しております。期間は2017/4/1-2018/3/31まで、毎月第1例会に見えますので今度皆様よろしくお願ひいたします。
- ② まだクラブ計画書 17-18年度各委員会方針をまだ提出されていない委員会につきましては大早急に提出をよろしくお願ひいたします。
- ③ 台北中原ロータリークラブより交代式のご案内が届いておりますのでご案内させていただきます。尚、交代式にご出席の方には後程メールにてご案内を送らせていただきます。よろしくお願ひいたします。
- ④ 次回例会 5/23(火)は「トヨタ博物館」12:30-13:30で行います。

【ロータリー青少年交換：一度だけの人生大胆にいこう】

ブラジルのガブリエラ・ベッサニさんは、12歳のとき、母や友人と一緒にペンシルバニアで夏休みを過ごしました。

その時の楽しい思い出が鮮明に残っているというガブリエラさん。ロータリー青少年交換プログラムのことを知ったとき、「これこそ自分のやりたかったこと」だと感じたそうです。

今年、彼女はカナダのロータリークラブが主催した合宿プログラムに参加しました。参加した7人の学生には海外から養子縁組された子どもも複数名含まれ、楽しくてユニークな体験となりました。

「たくさんの友だちとの交流を通じて、さまざまな文化を学ぶことができた」と彼女は振り返ります。

さらに7月、ガブリエラさんは他104名のロータリー青少年交換学生とともに、アメリカ全土を回るバスの旅に参加。31日間のフィナーレを飾る最終地点として、イリノイ州エバンストンにあるロータリー世界本部を訪問しました。

「人生に変化をもたらすロータリーならではの、最高のプログラムでした」

ロータリー会員にも変化が

初等教育の教育長を務め、ディアフィールド・ロータリークラブ（イリノイ州）会員のマイク・ルーベルフェルドさんは、青少年交換学生をクラブで受け入れるために、何週間もかけて入念な計画を立てました。そして8月、クラブ会員は、インドネシアからの17歳の留学生、レオさんを空港で出迎えました。

レオさんの留学生活は始まったばかりですが、すでにたくさんの刺激的なことがあったとマイクさんは話します。

「世界中の若者と交流することは、より良い未来をつくる最善の方法だと思います。文化交流は、留学生だけでなく、クラブ会員にとっても貴重な経験です」

海を渡って自信をつける

インドに暮らすバルダ・シャアさんの家族は、友人から青少年交換学生のホストファミリーとなることを勧められたとき、あまり気乗りがしませんでした。

「相手は男の子でドイツ人。うまく行くとはいえなかった」とバルダさん。しかし、せっかくの機会だからと、家族で留学生の受け入れを決意しました。その結果、「3カ月でこれほど仲良くなれるとは思わなかった」と振り返るほど、留学生との生活は実りあるものとなりました。バルダさんは現在も、スカイプやソーシャルメディアで頻繁に連絡を取っています。

今度はバルダさんが一念発起し、交換留学生としてニューヨークに滞在しました。3つのホストファミリーの世話になり、キャンプやスポーツ観戦といったさまざまな経験をしたバルダさんですが、一番の変化は何かというと、「自信がついた」ことだそうです。

「以前は知らない人と話すなんて絶対ムリだったけれど、今はそんなことはありません。自分から話しかけることもあります。心を開いて大人になるって、こういうことなんだと思います」

人として向き合う

オーストリアのジュリアナ・キーンさんは、姉に倣って青少年交換に参加し、ペンシルバニア州のホストファミリーと一緒に過ごしました。

人を受け入れ、違いを受け入れることの大切さを学んだとジュリアナさん。「世界中からの交換学生と出会い、人として向き合うこと、そして差異のみによって人を判断してはならないことを学びました。自信がつき、自分自身を受け入れることもできるようになりました」

一度きりの人生、大胆にいこう

スペインのミネルバ・ロペス・マルチネスさんは、青少年交換学生としてカナダに滞在しました。留学前、学業面の遅れを懸念して留学を断念した友人がいたそうですが、彼女は「人生いつでも学校に行けるけど、青少年交換のチャンスは一度だけ」と考えました。

「恥ずかしがり屋の自分を変えたかった」とミネルバさん。「今では新しいことに挑戦し、知らない人とも積極的に話ができます。私は変わったのです」



5月30日(火)	6月6日(火)	6月13日(火)	6月20日(火)
規定休日	祝福・クラブフォーラム (トヨタ博物館)	現・次委員会引継ぎ (トヨタ博物館)	17-18年度最終夜間例会 (よし川)

